

生活工学共同専攻

—学位授与・教育課程編成・入学者受入れの方針—

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生活工学の意義を理解し、各研究分野で求められる理工系学力、専門知識、ならびに研究能力を身につけていることが課程修了に必要な要件である。本共同専攻博士前期課程に2年以上在学し、共同専攻によって規定された履修要件のもと所定単位を修得し、かつ、複数教員による必要な研究指導を受けた上で、修士論文の研究成果の審査及び最終試験に合格することが学位授与の要件である。なお、本専攻では、修士（生活工学、工学、学術）の学位が取得できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

生活工学分野において、生活向上のための生活環境改良方策を具体的に提案する能力を培うため、以下のカリキュラムを編成する。共同専攻の要件として相手大学の開講科目を10単位以上履修すること。

- 生活者の視点から生活関連諸課題を柔軟に捉えるために、本分野における諸研究課題の探索と解決に向けた手法を学修し、課題設定・解決・評価能力を養う。
- 生活関連諸課題の解決に求められる、工学分野の理論・知識を修得・応用できる能力を養うとともに、他の研究分野とのコラボレーションの重要性を認識し、生活・環境と科学技術を互いに整合させる手法を修得する。
- 研究者・技術者としての倫理責任を自覚し、優れた研究成果をもって社会の発展に寄与するためのコンプライアンス感覚を身につける。
- 主指導教員と副指導教員による複数指導体制のもと、学位論文を作成する。論文作成を通じ、研究実施能力、研究の妥当性に対する判断力、文献調査能力等も養成する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念】

本専攻では、安全・安心で豊かな未来の社会・生活を創造すべく、人間生活における諸課題を柔軟に捉え、生活に根ざした生活者の視点を工学手法に融合させることで研究を展開できる能

力を有する女性人材の育成を目的とします。そのために、生活に関連する諸課題を生活者の視点に立ち、工学諸分野の基礎から応用までを幅広く学ぶことで、新たな分野である生活工学を創出することを旨とした教育研究を展開します。

【求める学生像】

- (1) 人間と生活環境に関わる現実的諸課題に強い関心を有する人
- (2) 生活工学的視点をもって課題解決に取り組む意欲・能力を有する人
- (3) 研究成果の提案・還元を通じて社会貢献する高い志を有する人

【入学者選抜の方法】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

専門分野に関する筆記試験、「英語」(TOEFL もしくは TOEIC) および生活工学的視点や諸課題に関する関心等に関する口述試験の結果を総合して判定します。

社会人特別選抜

専門分野に関する筆記試験、「英語」(TOEFL もしくは TOEIC) および生活工学的視点や諸課題に関する関心等や社会人経験に関する口述試験の結果を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

専門分野に関する筆記試験、「英語」(TOEFL もしくは TOEIC) および生活工学的視点や諸課題に関する関心等や社会人経験に関する口述試験の結果、日本語あるいは英語でのコミュニケーション能力を総合して判定します。

6年一貫教育プログラム特別選抜

6年一貫教育プログラムにおける成績を用いた書類審査と面接により判定します。